

小学校第4学年道徳の時間学習指導案

日時 平成25年 月 日 ()

指導者 4年担任 教諭 合志 直子

- 1 主題名 尊敬と感謝の気持ちを 尊敬・感謝 2-(4)
資料名 「道しるべ」 (『くまもとの心』小学校3・4年)

2 主題について

(1) ねらいについて

人は日々、お互いに支え合いながら、助け合って生きている。また、今日、わたしたちが豊かで安定した生活ができるのは、先人の苦勞のおかげである。ただ、日頃、そのことを意識して生活している児童は少ないと思われる。

この時期の児童は、自分が直接的にお世話になっている人(家族など)のことだけでなく、間接的に支えてくれている人に対しても十分に理解ができると考えられる。そのためこの時期は、高齢の方を含めた先人に対する尊敬・感謝の念を育むのに適しているといえるだろう。

また、社会科の「暮らしを守る」「住みよいくらしをつくる」などの単元で、児童は自分たちの暮らしを支えている人々について学習をし、消防署やごみ処理場などの施設を見学している。また、総合的な学習でも、砥川用水を完成させた富田茂七について調べ、自分たちの地域の先人の努力や功績について学んでいる。社会科や総合的な学習との関連を図りながら、身近な方々への感謝の気持ちがもてるようにしたい。

(2) 児童の実態について

※ 省略

(3) 資料について

本資料は、石工職という家業と村の要職のかたわら、阿蘇の道沿いに50年間で1824個の道しるべを作り続けた甲斐有雄の生涯を描いたものである。石を彫り、道しるべを作るといふ苦勞の多い作業を支えたのは、当時、厳しい阿蘇の山中の自然を愛した人々や共に暮らす村人の幸せとひとときの安らぎを願った有雄の気持ちであった。本資料は、そのような有雄の業績や気持ちを理解させるとともに、有雄に対する人々の感謝の気持ちに気付かせることによって、公共のために自らの苦勞や損得をいとわずに尽力してきた人々に対する尊敬や感謝の念を育てるのに適した資料である。校区にも、水不足に苦しむ農民のために砥川用水を作った富田茂七がいる。地域の先人と重ねながら考えさせることができる資料である。

(4) 指導にあたって

- 導入では、自分たちの暮らしを支えている人々についての気持ちを自由に出させる。「家族」だけに偏らないように、身の回りでお世話になっている方についても想起させたい。
- 展開では、資料の内容の理解を深めるために、厳しい自然の中を旅した人々の様子や、有雄が仕事の合間に道しるべを作り続けていたことなどを補足する。教師用指導資料の中の「碑文」なども紹介したい。
- 展開では、道しるべを目にした旅人の心情を想像させ、有雄のおかげで道に迷わずにすんだという感謝の気持ちを引き出していく。また、記念碑を建てた村人の気持ちを考えて書いたり話し合ったりする活動を通して、村人の尊敬や感謝の念、有雄の業績を後世に伝えたいという思いに気付かせたい。
- 終末では、児童の身近な方や社会科で学んだ様々な職業の人々に手紙を書く活動を位置づけ、公共のために働いている方々への尊敬や感謝の念を高めていきたい。また、総合的な学習で取り扱っている郷土の先人「富田茂七」を振り返り、これまでの先人の努力の上に自分たちの生活が成り立っていることにも気付かせたい。

ICT活用のポイント

① 教師の活用

- ・資料を読んで話し合う場面でDVDを活用する。児童がDVDを視聴しているときに、黒板に挿絵を貼り、話の内容がわかるようにする。
- ・終末で、砥川用水や富田茂七の記念碑の写真などを、大型モニタで提示し、これまでの学習と関連させながら主題に迫っていく。

3 本時の展開

(1) 目標 公共のために尽くしてくれている人に対し、感謝・尊敬する気持ちを育てる。

(2) 展開

| 過程 | 学習活動、主な発問(T) 予想される児童の反応(C) | 指導上の留意点・評価 | 備考 ICT活用 |
|----------|---|------------------------|-------------|
| 導入 5分 | 1 自分たちの暮らしを支えてくれているのはどんな人々か考える。 (T)みんなのためにがんばっている人は、どんな人がいますか。 (C)お母さん。お父さん。 (C)おじいちゃん。おばあちゃん。 (C)給食センターの方。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">くらしを支える人々について考えよう。</div> | ・家族や身の回りの方など、自由に発表させる。 | |

| | | | |
|-------------------|---|---|--|
| <p>展開 35分</p> | <p>2 資料を読んで話し合う。</p> <p>(1) 心に残ったことを出し合う。 (T)お話を聞いて、心に残ったことや考えたことはありませんか。 (C)昔は旅をするのも大変だったんだな。 (C)旅人も命がけなんだな。 (C)有雄が道しるべを千八百以上も作ったのがすごい。 (2) 道しるべに込められた有雄の願いを考える。 (T)有雄はどんな願いを込めて道しるべを立てたのでしょうか。 (C)道に迷う人がいないように。 (C)安心して旅をしてほしい。 (C)みんなが分かるように。</p> <p>(3) 旅人や村人たちの気持ちを話し合う。 (T)旅人たちは、その道しるべを見てどんなことを考えたでしょう。 (C)ほっとした。助かった。 (C)これで安心だ。 (C)こんなにたくさん、ありがとう。</p> <p>(T)村人たちの気持ちを考えて、ワークシートに書きましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>村人たちは、どんな気持ちで記念碑を建てたのだろうか。</p> </div> <p>(C)有雄さん、ありがとう。 (C)有雄さんのことを忘れないように。 (C)有雄さんのことをずっと伝えていきたい。</p> <p>3 自分の生活を振り返る。 (T)みんなの暮らしを支えるため、地域のためにがんばっている人がたくさんいます。みなさんはどう思いますか。手紙を書いてみましょう。 (C)給食センターの先生へ。いつもおいしい給食ありがとうございます。 (C)「学びサポーター」のみなさんへ。いつも勉強を教えてくれてありがとうございます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・資料の内容理解を図るため、甲斐有雄の紹介と道しるべの意味や役割について説明する。 ・DVDを視聴しながら、挿絵を黒板に貼って、話の内容が分かるようにしておく。 ・有雄が人々の安全を願い、心を込めて彫っていたことに気付かせる。 <p style="margin-top: 20px;">・旅人の心情を考えさせることで、有雄への感謝の気持ちに気付かせる。</p> <p style="margin-top: 20px;">・児童に村人の気持ちを考えさせ、書いたものを発表し合うことで、有雄への尊敬や感謝の念を後世に伝えたかった村人の思いに気付かせる。</p> <p style="margin-top: 20px;">・家族以外にも、児童に関わっている方や社会科で学んだ様々な職業に携わる方々のことを想起させる。</p> | <p>DVD 挿絵資料</p> <p style="margin-top: 20px;">ワークシート 記念碑の碑文</p> <p style="margin-top: 20px;">ワークシート</p> |
|-------------------|---|---|--|

| | | | |
|------------------|--|---|--------------|
| | <p>(C) クリーンセンターの人へ。みんなのために一生懸命働いてくれてありがとうございます。</p> <p>(C) 消防署の方は、24時間休みなく仕事をされていて、大変だなと思いました。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・身近で地道に活動されている方々への感謝の気持ちが持てるようにしたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価</p> <p>◆ 公共のために尽くしてくれた人に対し、尊敬や感謝の気持ちを持つことができたか。 (発言・シート)</p> </div> | |
| <p>終末 5分</p> | <p>4 教師の説話を聞く。</p> <p>(T) 富田茂七さんの作った砥川用水は今でも米作りに役立っています。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・砥川用水の写真や記念碑の写真、井手祭りの様子などを大型モニタに写す。 ・自分たちの生活が地域の先人によっても支えられていることに気付かせる。 | <p>大型モニタ</p> |